

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	15	0	定員10人で、1人当たり小学生2階6.3㎡、中学生3階8.5㎡と十分な広さがある。
	2	職員の配置数は適切であるか	15	0	定員10名に対し常に4名、1:1対応が必要な場合も対応できる余裕を持った配置となっている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	15	施設がビルの2・3階であり、エレベーターがないため、車椅子の児童が利用できないのが現状。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	15	0	目標達成に対しては全員で喜び、未達成課題は手立てを提案し合っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	0	保護者が率直な要望を寄せ意見を述べられるよう、アンケートを無記名で行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	15	0	ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	15	今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15	0	一般的なメソッドに加えて、学校の教え方に合わせた教授法を研修している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	15	0	事前の1日体験を必須とし、保護者とのアセスメント面談は1～2時間行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	15	太田ステージのLDTとTEACCHのCARSを備えているが、利用者が対象外のため実施されていない。外部の検査結果は知らせてもらっている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12	3	学習・遊びともにスタッフ個人に依拠している。相互協力は良好。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	15	0	臨機応変に対応できている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	15	0	休日は開所していないが、長期休暇は時間が長く回数も多いので、課題達成の重要なポイントとなっている。特に春休みは宿題がない学校が多いので、独自カリキュラム・教材を企画している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	15	0	学習支援中心なので個別に偏りがちだが、休み時間は集団遊びを促している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	3	子どもたちの状態によって、予定と異なる臨機応変さが求められることも多い。遊軍の余裕を確保できている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	3	常勤職員間では毎日情報共有ができていますが、非常勤職員への伝達はSNSに頼っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	3	日報は学習内容中心になっている。特記事項はSNSで共有している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	15	0	モニタリング方法を多様化し、半期ごとに書面で提出していただき、面談・訪問・電話・メールによるものは随時行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	15	0	5領域のねらいと支援内容・支援プログラム5領域対応表を公表するとともに、計画書に添付している。

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	15	0	児童相談所主催のケース会議には管理者兼常勤児童指導員が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	15	0	保護者が仲介することが多いが、必要に応じて学校と直接連絡を取り合っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	15	現在のところ医療的ケアが必要な子どもは利用していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	15	小学1年生の利用者について、保護者と相談して必要とあれば相談させていただきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	15	今後移行者が出た場合行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	15	0	松が丘園と連絡を取り合っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	12	長期休暇中の子弟参加だけで、組織的な取り組みはなされていない。今後機会を積極的につくりたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	10	参加はしておらず、会議録を閲覧している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	3	送迎の際にフェイスツーフェイスでコミュニケーションしているが、なかなか会えない保護者とは頻度は高くないが必要に応じて電話で話せている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	12	子育て支援センターと協力しているケースがある。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15	0	運営規定・重要事項説明書・契約書と三重に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	3	積極的に相談してくれる保護者はよいが、そうでない場合悩みをすくいきれていない。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	15	保護者のネットワークに委ねている。今後主体的に構築していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	0	苦情フリーダイヤルを開設している。苦情はすぐに管理者に連絡が行き、管理者が即連絡する体制ができている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0	15	会報はなく、現状はレターのみ。今後ホームページを活用したい。
	35	個人情報に十分注意しているか	15	0	一元管理するとともに個人情報について子どもたちにもアナウンスしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15	0	日報以外に、連絡帳や手紙など、手段を多様化している。電話・メールを常時オープンにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	15	公開する行事を行っていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12	3	職員にはできているが、保護者にはできていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	15	0	長期休暇中に避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15	0	対応規程を定め、研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	15	0	今現在は身体拘束を必要とする利用者はいないという認識だが、運営規程・指針・委員会・研修を備えている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	15	指示書はないが、周知している。確認したい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0	15	集というほどまだ件数がない。